

令和2年度
東京都写真美術館作品資料収蔵委員会
作品資料評価部会

令和2年11月6日（金）
東京都写真美術館 4階会議室

午後 4 時06分開会

矢中文化施設担当課長代理：本日はお忙しい中、御出席いただきましてありがとうございます。
ました。

ただいまから令和 2 年度「東京都写真美術館作品資料収蔵委員会作品資料評価部会」を
開催いたします。

私は東京都生活文化局文化振興部で文化施設の課長代理をしております矢中と申します。
本日の司会を務めさせていただきますので、どうぞよろしく願いいたします。

まず、お手元にお配りしました資料の御確認のほうをお願いしたいと思います。

まず、会議次第がございまして、1 枚おめくりいただきまして委員名簿、座席表、その
次に「東京都写真美術館収蔵委員会設置要綱」がついてございます。

「収蔵作品収集予定点数一覧表」が一番上にございまして、その後「東京都購入案件
作品リスト」と「購入作品 個表」がございまして。

その次に、「東京都写真美術館購入案件購入リスト」と同じく「個表」。

最後に「寄贈リスト」と「寄贈 個表」がございまして。

そのほかにお手元にリーフレットに入っております、本日記入いただく評価書が机上に
ございますでしょうか。それが東京都購入案件と写真美術館購入案件が 1 枚、最後に寄贈
案件について 3 束に分かれているものが入っているかと思っておりますので、そちら後ほど評価
に御記入いただく用紙になります。

お手元の資料はよろしかったでしょうか。何かございましたら事務局のほうにお伝え下
さい。

作品資料収蔵委員会につきましては収集部会と評価部会がございまして、収集部会は写
真美術館の収蔵品としてふさわしいか否かを御審議いただく会としております。本評価部
会につきましては写真美術館の収蔵品としての価格を個別の委員の方々に御評価いただく
会というふうになってございます。

なお、本日こちらの評価部会の前に収集部会のほうを開催してございまして、本日、当部
会にお諮りする案件につきましては収蔵するのが適切であるという御意見を既にいただい
ているところでございます。

評価部会におきましては都民の財産となります貴重な資料にふさわしい適切な価格評価
のほうをよろしく願いいたします。

続きまして、本日御出席いただきました委員の皆様を御紹介させていただきたいと思
います。

私から向かって左側の席のほうから順に御紹介させていただきます。

飯田委員でございまして。

和光委員でございまして。

南委員は後ほどいらっしゃるかと思っております。

矢野委員でございまして。

荒木委員、石田委員、高橋委員、松永委員につきましては、本日御欠席となっております。

続きまして、写真美術館の職員を御紹介いたします。

東京都写真美術館副館長の舩木でございます。

同じく、事業企画課長の関次でございます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

次に、議事に入る前に確認させていただきますが、東京都写真美術館作品資料収蔵委員会設置要綱第11の規定に基づきまして、評価対象資料の価格の評価に関する議事については非公開というふうになっております。

それでは、議事のほうに入りたいと思います。

それに先立ちまして、当部会の公開について申し上げます。

委員の皆様のお名前と現職名は東京都のホームページ上にて公開させていただいております。また、当部会の議事録につきましては、作品資料収集の決定の後、公開を予定しております。公開に当たって支障のある内容がないかにつきましては、事前に委員の皆様に確認させていただきたいと考えております。なお、委員の皆様の個別の価格評価につきましては、その際も非公開ということにさせていただいております。

それでは、議事に入りたいと思います。

では、写真美術館の関次課長のほうから、本日皆様に評価いただく資料の説明のほうをいたしますので、よろしくお願ひいたします。

関次事業企画課長：よろしくお願ひいたします。

それでは、個表の束、まず東京都購入作品から御説明させていただきます。

一番分厚い資料で、東京都購入作品を御覧下さい。

1枚目が赤鹿摩耶さん。こちら全部で16点、価格は記載のとおりでございます。2ページ目に個別の作品の購入価格及び評価額の記載がございます。赤鹿摩耶さんは全部で16点の購入でございます。

めくっていただきますと、5ページ目に石内都さん。石内都さんにつきましては、今回2点「ひろしま」シリーズの購入でございます。めくって6ページ目に購入価格と評価額の記載がそれぞれございますので御確認下さい。この作品は来年度開催します「日豪現代写真展」に出品する予定の作品でございます。

8ページ目、御覧下さい。岩根愛さんの作品です。購入予定作品は6点、9ページ目に6点購入の購入価格、評価額の記載がそれぞれございますので御確認下さい。

続きまして、11ページ目から岡田裕子さん。購入作品は1点。めくっていただきまして12ページに購入価格と評価額の記載がそれぞれございます。御確認下さい。

続きまして澤田知子さん、14ページ。澤田知子さんは今回「Reflection」のシリーズを2点購入いたします。15ページに各作品の購入価格と評価額の記載がございます。御確認下さい。澤田知子さん、今年度3月から開催されます個展に出品する予定の作品でございます。

ます。

17ページ目、篠山紀信さん。写真美術館重点収集作家のお一人でございます。今回は18点。18ページ目に18点全ての購入価格と評価額の記載がございます。来年度自主企画展で開催予定の展覧会に出品する予定でございます。

続きまして、鈴木麻弓さん、22ページ目。鈴木麻弓さんは今回11点の購入でございます。作品の購入価格につきましては25ページを御参照下さい。11点購入の予定でございます。今年開催しました「新進作家展」に出品の作家です。

次、26ページ目、高谷史郎さん。高谷史郎さんは昨年度の恵比寿映像祭に御出品いただいた作品から3点、購入を御提案させていただきます。27ページ目に3点の購入価格の表と評価額を御紹介しております。

続きまして、原久路さん&林ナツミさん、29ページ目。同じく今年度開催の「日本の新進作家展」に出品いただいた作品から2点、「世界を見つめる」の作品を購入予定でございます。

菱田雄介さん、32ページ目。こちらも今年の「新進作家展」に御出品の作品で12点購入でございます。購入金額及び評価額は33ページに記載させていただいております。

36ページ目、松江泰治さん。第3期の重点収集作家で来年度、展覧会を開催予定の作家で、今回7点購入の御提案となります。37ページにそれぞれの購入予定価格と評価額の記載がございます。御確認下さい。

39ページ目、宮崎学さん。第3期当館の重点収集作家のお一人で、来年、自主企画展で御紹介する予定の作品です。今回40点の御提案でございます。

めくっていただきまして、49ページから山城知佳子さん。こちら国内写真作品が13点、購入の御提案でございます。リストは次ページに記載しております。

53ページ目から、今度は海外写真作品の御提案です。

アドリ・ヴァルリー・ウェンズ、こちらは来年度開催する予定の「日本オーストラリア現代写真家展」に出品する作家のお一人でございます。3点の御提案でございます。

同じくマレイ・クラーク、これも「日豪現代写真展」の出品作品の3点の御提案でございます。

39ページ、ポリクセニ・パパペトロウ、こちらもオーストラリアの「現代作家展」に出品する作家のお一人でございます。今回は2点の御提案でございます。

海外写真作品の最後はバーバラ・モーガン。この作品は来年度「収蔵作品展」で「光のメディア」という展覧会を開催する予定でございます。その出品予定作品を3点御提案でございます。

続きまして、国内映像作品、6作家、御提案させていただいております。

先ほど写真作品でも御提案がありました岩根愛さんの映像作品が1点。

今年の地下1階映像展示室で開催しました「エキソニモ展」に出品しましたエキソニモ作品の2点が69ページにリストの記載がございます。

71ページに岡田裕子さんの作品が1。こちらは映像作品になっております。1点の御提案です。

同じく国内映像作品で、黒川良一さんの作品が1点。

77ページ、菱田雄介さん。先ほど国内写真作品の中でも御提案いたしました同じ作家の菱田雄介さんの「30sec」という写真作品プラス映像作品のシリーズです。こちらは映像作品での御提案です。1点になります。

最後に、国内映像作品で山城知佳子さんの映像作品が3点。購入予定価格と評価額は81ページに記載のとおりでございます。

以上が東京都購入作品の予定作品の提案書でございます。

引き続きまして東京都写真美術館購入予定作品の御説明に移りたいと存じます。こちらも東京都写真美術館購入作品の個表で御説明いたします。国内写真作品が4作家でございます。

まず初期写真で3名、まず小豆澤亮一さんが1点。

続きまして金丸源三さんが同じく1点。

日下部金兵衛さんの作品が2点ございます。

初期写真につきましては4点の御提案になっております。価格につきましてはリストを御参照下さい。

そして4番目、瀬戸正人さん、「バンコク・ハノイ」のから20点の御提案です。瀬戸正人さんは今年12月1日から開催する予定の「瀬戸正人展」に出品する作品の一部でございます。こちらが20点の御提案です。

最後に国内映像作品の木本圭子さん「柔らかな秩序」、こちらは映像の作品が3点になります。15ページ目に購入価格と作品の評価額それぞれ記載がございますので、こちらを御参照下さい。

以上が東京都写真美術館購入作品の概要でございます。国内写真作品が4作家、国内映像作品が1作家、合計5作家の27点を今年度は御提案させていただきたいと思っております。よろしく願いいたします。

最後に寄贈の作品の御説明になります。こちらも個表で御紹介させていただきます。こちらのリストなんですが、1番、相川勝さんから20作家の御寄贈の御提案でございます。

こちらは相川勝さん、1ページ目、この作家さんは昨年度の「日本の新進作家vol.16」に御出品いただいた作家のお一人で、そちらの作品を御寄贈いただく予定でございます。2ページ目にリスト、こちらは作品の評価額を記載させていただいております。

4ページ目、赤鹿摩耶さん。先ほど購入でも御提案させていただきました赤鹿摩耶さんは購入に伴う御寄贈が17点ございます。作品の評価額は記載のとおりでございます。

続きまして9ページ目、岩根愛さん。岩根愛さんは26点御寄贈をいただく予定でございます。こちら購入に伴う寄贈になっております。26点の御寄贈でございます。

続きまして澤田知子さん。澤田知子さんも今回、東京都購入で收藏いたします作品の購

入に伴う寄贈で、今回は2点御寄贈をいただく予定でございます。

引き続きまして鈴木麻弓さん、鈴木麻弓さんも今年度の「日本の新進作家展」に出品いただいた作家でございます。購入に伴う寄贈が27点ございます。

続きまして瀬戸正人さん、26ページ目。「バンコク・ハノイ」こちらは購入作品20点に対する御寄贈を5点頂戴することになっております。

(南委員、入室)

それでは、ただいま収蔵委員会の寄贈作品寄贈案件の26ページ目の作品資料の瀬戸正人作品まで御説明させていただきました。今回、瀬戸正人さんの作品も購入に伴い5点御寄贈をいただく予定でございます。

29ページ目、土田ヒロミさん。当館の第1期の重点収集作家である土田ヒロミさんから1点御寄贈をいただきます。

32ページ目、原久路さん&林ナツミさん。原さん、林さん、このお二方のユニットも今年の「新進作家展」に御出品いただきました作品を御寄贈いただきます。34点の御寄贈でございます。評価額、点数につきましては33ページ以降のリストを御参照下さい。

40ページ目から菱田雄介さんの写真作品が32点。こちらも「日本の新進作家展」に御出品いただいた作品を32点、御寄贈いただきます。イメージコピーなど御参照いただければと思います。

47ページ、宮崎学さん、第3期の重点収集作家で来年の夏、自主企画展で作品を御紹介する作家の一人でございます。40点御購入に伴う14点の御寄贈となっております。

続きまして、51ページ目から山崎博さんです。山崎博さん、平成28年度に収蔵点で「山崎博展」を開催いたしました。そのときに出品しましたシリーズ及び、以前、写真美術館が「総合開館記念展 写真都市T O K Y O」で御出品いただきました「CRITICAL LANDSCAPE」のシリーズ、こちら27点の御寄贈を御遺族の御意向でいただいております。

58ページ目、山沢栄子作品です。「山沢栄子展」は2019年、昨年度展覧会で開催いたしました。その出品作品の中から2点御寄贈をいただくことになっております。評価額については記載のとおりです。

61ページ目、シドニー・ケルナー「母と子」、こちらは以前「明日を夢みて展」というドキュメンタリーの写真展で御紹介いたしました作家の一人でございます。今回2点御寄贈いただくものでございます。評価額については記載のとおりです。

64ページ目から、オサム・ジェームス・ナカガワとトレーシー・テンブルトンのユニットによる作品でございます。これは昨年「洞窟展」でオサム・ジェームス・ナカガワさんに御出品いただきました。その御縁もございまして、この「触・浮遊」のシリーズを1点御寄贈いただくことになっております。評価額は記載のとおりでございます。

67ページ目から「日本・オーストラリア現代写真家展」に出品予定のポリクセニ・パペテロウの作品、こちら購入に伴う御寄贈が1点。

続きまして、同じくアドリ・ヴァルリー・ウエンズ、こちら3点購入に伴う1点の御

寄贈でございます。

続きまして国内の映像作品作家を4名、御紹介いたします。

73ページ目、エキソニモ。今年の夏に地下1階展示室で開催しました「エキソニモ展」に出品しました作品、こちらにも購入に伴う御寄贈で3点、いただいております。評価額は記載のとおりでございます。

79ページ目、高谷史郎さん。高谷史郎さんも作品購入に伴う御寄贈のお申出をいただいております。

82ページ目、山城知佳子さん、山城知佳子さんも東京都購入案件で購入を御提案させていただきました作品の購入に伴う映像作品の御寄贈が1点でございます。

以上が今回、収蔵評価部会に御提案する案件の全てでございます。

これから実際に作品を御覧になって、作品の評価の金額について皆様にお諮りしたいと思います。評価額の決定方法でございますが、例年のことではございますが、皆様に御記入いただきました最高価格と最低価格を切って平均をして、その金額がこの写真美術館で今回御提案した価格の範囲内に収まっているかどうかで評価が正しいものかどうかを御審議いただきたいと思います。

この後は作品の実見に移りたいと存じます。大変お手数ですが、皆様に収蔵庫にお運びいただくこととなります。収蔵庫内は鉛筆以外の筆記具が御使用になれませんので、鉛筆を御利用いただければと思います。また、貴重品以外はこちらの会場に置いていただいて大丈夫ですので、どうぞ必要な書類と鉛筆だけ持って御移動いただければと思います。

皆さんに作品を御覧いただいた後に個別に質疑を承りたいと思いますので、この後、作品についての皆さんからの御審議をいただきたいと思います。

今までの質問の中で何か。

矢中文化施設担当課長代理：一旦、作品の説明を終わります。

南委員がお越しになられましたので、ご紹介いたします。南委員でございます。

今の時点で説明内容につきまして御質問や御意見などございますでしょうか。

特段よろしいでしょうか。

では、これから作品の実見に移りたいと思います。係の者が御案内いたしますので、移動のほうをよろしく願いいたします。

(委員離席)

(資料実見)

(委員着席)

矢中文化施設担当課長代理：では、作品を御覧いただきまして、また何か御質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

御質問等ございませでしたら、これから評価書の記入のほうをお願いしたいと思います。評価書は3種類に分かれております。評価額を記載していただきまして、最後にそれぞれペンで記名と捺印をお願いいたします。

なお、今年度をもちまして和光委員が任期満了ということになりますので、長きにわたりまして作品資料収集に関して御尽力、誠にありがとうございました。改めてお礼申し上げます。

御記入がお済みになった委員の方は係の者が確認させていただきますのでお声かけ下さい。係の確認が終わりましたら御退席いただいて結構です。

本日はありがとうございました。

(評価書記入)

午後 5 時34分閉会

以上